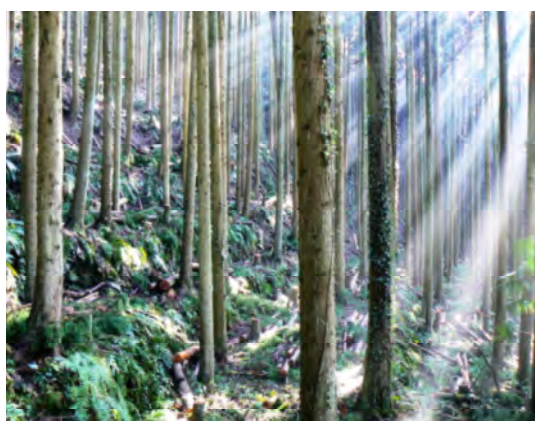


平成20年度

やまぐち森林づくりレポート

= やまぐち森林づくり県民税関連事業実績報告 =



平成21年（2009年）10月

山 口 県

はじめに

緑豊かな森林は、きれいな水や空気を育み、県土を災害から守り、ふるさと山口の美しい景観を創り出すなど、県民生活に欠くことのできない多面的な機能を持っています。

また、近年では、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の吸収源としての機能など地球規模での環境保全に果たす役割にも大きな期待が寄せられています。

このかけがえのない森林は、これまで、林業生産活動など農山村の人々の営みの中で適切に管理されてきましたが、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、木材価格の長期低迷など森林・林業を取り巻く社会環境が厳しさを増す中で、手入れが行き届かず荒廃した森林が増加し、森林の持つ多面的機能が十分に発揮されず、県民生活に支障をきたすことが強く懸念されています。

このため、山口県は、平成16年3月に、県民の皆様との協働の下に、本県の豊かな森林を次世代に引き継ぐことを目指した「やまぐち森林づくりビジョン」をお示しし、また、荒廃森林の再生などを支える財源として、平成17年4月に「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。この県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご理解とご協力が不可欠です。

このため、「やまぐち森林づくり県民税」に関する年次報告として、毎年度、「やまぐち森林づくりレポート」を作成し、税の導入目的や県民税により実施している事業の内容、実績、効果などについて公表しています。

ぜひ、ご一読いただき、本県の豊かな森林づくりへの取り組みに、さらなるご理解をいただきますとともに、今後の事業の実施に当たって反映するため、皆様からのご意見をお寄せいただきますようお願いを申し上げます。

< お問い合わせ先 >

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班
(電話番号) 083-933-3464 (FAX番号) 083-933-3479
(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp

目次

1	森林の果たしている役割 p. 1
2	やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯 p. 2
3	やまぐち森林づくり県民税の概要 p. 4
4	平成20年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績 p. 5
5	平成20年度税収不足額等の取り扱い p. 7
6	平成20年度県民税関連事業実施実績 p. 8
7	事業の効果 p.19
資料編		
1	健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業） p.25
2	県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業） p.32
3	独自課税を活用した主な事業の内容 p.35
4	事業の効果 p.37

1 森林の果たしている役割

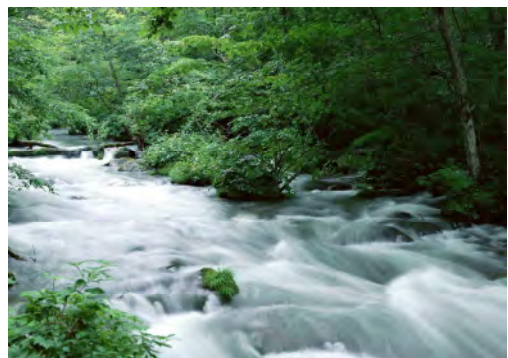
森林は、木材の生産のほかに、水源のかん養、県土の保全、地球温暖化の防止、快適な生活環境の保全などの多面的な機能を有しており、安全で快適な県民の暮らしを守っています。

水源のかん養

森林内では、落葉・落枝などの堆積物や土壌生物が多く棲む表土がスポンジのような役割を果たし、大量の雨水はゆっくりと河川に流されて洪水を防ぎ、渇水時には貯蔵された水が少しずつ流れ出て渇水を緩和します。

県土の保全

森林は、樹木の根を張り巡らせ、土壌をしっかり固定し、土壌の崩壊を防止するとともに、落葉や下草などによって地表が覆われているため、降雨等による土壌の侵食や流出を抑えています。



豊かな水を育む森林

地球温暖化の防止

森林は、その成長の過程で光合成により、地球温暖化の主要な原因となっている二酸化炭素を吸収・固定しています。そして、二酸化炭素が固定された木材を利用することは、長期間にわたり、二酸化炭素の大気への放出を抑制することになります。

快適な生活環境の保全

森林は、美しい景観の形成や憩いの場を提供するとともに、強風や騒音等から私たちを守る働きがあり、快適な生活環境の保全に貢献しています。

生物多様性の保全

森林は、野生動植物に生息・生育する場を提供し、生態系や生物種、遺伝子の保全など、生物の多様性を保全する働きを持っています。

2 やまぐち森林づくり県民税の導入の経緯

(1) 山口県の森林・林業の現状と課題

山口県の森林面積は約439千㌦で、県土面積611千㌦の72%を占めています。また、この森林の85%は個人や企業等が所有している私有林で、私有林と市町有林等を合わせた民有林の面積は約427千㌦と、本県の森林の97%を占めています。

この民有林の44%は、スギ、ヒノキを中心とした人工林で、その面積は約189千㌦です。その多くは、第二次世界大戦時の大規模な伐採で荒廃した山を復興するために植栽されたものです。

近年、農山村の過疎化や高齢化、担い手の減少、また木材価格の長期低迷など林業を取り巻く経営環境の厳しさが増す中で、人工林を中心に荒廃した森林が増加し、水源のかん養や県土の保全など県民生活と密接に関わる森林の多面的な機能の発揮が懸念される状況となっています。この多面的機能の回復を図るため、



長期間放置され荒廃した森林（下草が枯れ、表土が流出し、樹木の根が露出している。）

荒廃した森林の緊急的な整備等を着実に進めるとともに、森林の果たす役割やその整備の重要性などについて県民理解を促進する取り組みなど、本県独自の新たな森林づくりを積極的に進めていくことが重要な課題となっています。

(2) 「やまぐち森林づくりビジョン」の策定

荒廃が深刻化する森林の現状や県民の森林に対する多様化、高度化するニーズを踏まえ、健全で豊かな森林を県民との協働により育み、次世代に引き継ぐための指針として、「やまぐち森林づくりビジョン」を策定し、平成16年3月に公表しました。

このビジョンでは、百年先の豊かな森林の創造に向け、人と森林の関わり方を考慮して、本県の民有林を「自然を守る森林」、「水と緑を育む森林」、「循環利用される森林」、「生



やまぐち森林づくりビジョン
(平成16年3月策定)

活環境を支える森林」の4つに区分し、多様な森林づくりを進める方向をお示ししています。

また、このビジョンを着実に推進していくために、森林・林業施策の重点化とともに、新たな財源の必要性について提起しています。

(3) 新たな財源の検討

ビジョンの方向性を踏まえて、平成16年4月に、学識経験者や県民各界各層の委員で構成される「やまぐち森林づくり財源検討委員会」を設置し、財源に関する検討を行いました。この検討の結果として、森林の多面的な機能の恩恵を受けている県民の皆様幅広く負担していただくことが適当であるとの意見が示され、平成16年12月に報告書がまとめられて、県に提出されました。



藤井会長から報告書を提出
(平成16年12月24日)

(4) やまぐち森林づくり県民税の導入

財源検討委員会の報告を踏まえ、山口県は「やまぐち森林づくり県民税(案)」を公表しました。テレビやラジオ、県のホームページなど各種広報媒体を活用した広報活動、県内10箇所での県民説明会、森林シンポジウムの開催などによる周知を行うとともに、パブリックコメントやシンポジウムの実施時のアンケート調査など幅広い意見の聴取に努め、また、県議会での審議を経て、平成17年4月から「やまぐち森林づくり県民税」を導入することが決まりました。



やまぐち森林づくりシンポジウムの開催(平成17年1月30日)

3 やまぐち森林づくり県民税の概要

やまぐち森林づくり県民税は、現行の県民税均等割の税率に一定額を上乗せする方式をとっています。

対象者	<p>【個人】県内にお住まいの方等</p> <p>【法人】県内に事務所、事業所を持っている法人等</p>																		
税額 (上乗せ額)	<p>【個人】年額:500円</p> <p>【法人】年額:1,000円～40,000円(現行法人の県民税均等割の税率の5分の1相当額)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>資本金等の金額</th> <th>現行均等割の税率</th> <th>5分の1相当額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50億円超</td> <td>年額 800,000円</td> <td>40,000円</td> </tr> <tr> <td>10億円超～50億円以下</td> <td>年額 540,000円</td> <td>27,000円</td> </tr> <tr> <td>1億円超～10億円以下</td> <td>年額 130,000円</td> <td>6,500円</td> </tr> <tr> <td>1千万円超～1億円以下</td> <td>年額 50,000円</td> <td>2,500円</td> </tr> <tr> <td>1千万円以下</td> <td>年額 20,000円</td> <td>1,000円</td> </tr> </tbody> </table>	資本金等の金額	現行均等割の税率	5分の1相当額	50億円超	年額 800,000円	40,000円	10億円超～50億円以下	年額 540,000円	27,000円	1億円超～10億円以下	年額 130,000円	6,500円	1千万円超～1億円以下	年額 50,000円	2,500円	1千万円以下	年額 20,000円	1,000円
資本金等の金額	現行均等割の税率	5分の1相当額																	
50億円超	年額 800,000円	40,000円																	
10億円超～50億円以下	年額 540,000円	27,000円																	
1億円超～10億円以下	年額 130,000円	6,500円																	
1千万円超～1億円以下	年額 50,000円	2,500円																	
1千万円以下	年額 20,000円	1,000円																	
納税方法	<p>県民税均等割に上乗せして納めていただきます。</p> <p>(個人)</p> <p>(法人)</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>給与所得者</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>個人事業者等</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 </td> </tr> <tr> <td>法人</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 </td> </tr> </tbody> </table>	給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 	法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 												
給与所得者	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用主が給与から税を天引きします。 ・雇用主はとりまとめた税を市町に納入します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
個人事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・市町から送付される納税通知書によって納税します。 ・市町はとりまとめた税を県に払い込みます。 																		
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・県民税の申告納付の際に、均等割額に上乗せして納めます。 																		
用途	<ul style="list-style-type: none"> ・健全で多様な森林づくりの推進 ・県民との協働による森林づくりの推進 																		
実施期間	5年間(平成17年度～平成21年度)																		

4 平成20年度やまぐち森林づくり県民税関連事業の実績及び税収実績

(1) 事業実績総括表

平成20年度については、やまぐち森林づくり県民税の税収額を4億19百万円と見込み、平成18年度剰余金等13百万円を加えた4億32百万円を事業費として、公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの県民税関連事業を実施しました。

各種事業の実績は次表のとおりです。また、事業費については、事業実施の際の端数調整の結果として1,671,361円の残余となりました。

(事業費の単位；円)

区分		平成20年度事業		5年間の 整備目標
		予算	決算見込(注)	
健全で多様な森林づくりの推進(ハード事業)				
公益森林整備事業	整備面積	600 [㌥]	602.29 [㌥]	2,500 [㌥]
	事業費	303,000,000	302,668,155	
竹繁茂防止緊急対策事業	整備面積	36 [㌥]	39.82 [㌥]	300 [㌥]
	再生竹除去面積	398.41 [㌥]	397.63 [㌥]	
	事業費	89,047,000	87,862,356	
やすらぎの森整備事業	整備箇所	3箇所	3箇所	15箇所
	事業費	30,000,000	29,947,300	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	2 [㌥]	2 [㌥]	10 [㌥]
	事業費	5,000,000	4,988,353	
県民との協働による森林づくりの推進(ソフト事業)				
県民との協働による 百年の森づくり推進事業	事業費	5,000,000	4,909,475	-
事業費計		432,047,000	430,375,639	(残余額) 1,671,361

(注) 12月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(2) 平成20年度までの4年間の事業実績

平成20年度までの4年間の公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業など各種事業の実績は、次表のとおりです。

(事業費の単位；千円)

区分		平成17年度 ～ 19年度	平成20年度	4年間の 事業実績	5年間の 整備目標
健全で多様な森林づくりの推進(ハード事業)					
公益森林 整備事業	整備面積	1,261.94 [㍉]	602.29 [㍉]	1,864.23 [㍉]	2,500 [㍉]
	事業費	627,895	302,668	930,563	
竹繁茂防止 緊急対策事業	整備面積	398.41 [㍉]	39.82 [㍉]	438.23 [㍉]	300 [㍉]
	再生竹除去面積	484.45 [㍉]	397.63 [㍉]	882.08 [㍉]	
	事業費	323,013	87,862	410,876	
やすらぎの森 整備事業	整備箇所	9箇所	3箇所	12箇所	15箇所
	事業費	89,997	29,947	119,945	
魚つき保安林等 海岸林整備事業	整備面積	6 [㍉]	2 [㍉]	8 [㍉]	10 [㍉]
	事業費	14,997	4,988	19,985	
県民との協働による森林づくりの推進(ソフト事業)					
県民との協働に よる百年の森 づくり推進事業	事業費	17,073	4,909	21,983	
事業費計		1,072,976	430,376	1,503,352	

(注) 四捨五入により内訳と合計が一致しない場合があります。

(3) 税収実績

平成20年度の税収実績は413,900,253円で、事業費充当額は当初見込額を、5,100,862円下回りました。

(単位；円)

区分	予算額 ()	決算見込額(注) ()	増減 (-)
(1) 税収額	419,000,000	413,900,253	5,099,747
(2) 平成18年度剰余金等	13,047,000	13,045,885	1,115
(3)=(1)+(2)事業費充当額	432,047,000	426,946,138	5,100,862

(注) 12月県議会で承認されて正式な決算額となるため、現時点では決算見込額となります。

(4) 不足額について

平成20年度については、税込減収及び事業実施の際の端数調整の結果として、当初見込額を3,429,501円下回る結果となりました。

区分	金額（円）	摘要
(1) 税込減収額	5,100,862	
(2) 事業費残余额	1,671,361	
(1)+(2) 不足額	3,429,501	

5 平成20年度税込不足額等の取り扱い

前述のとおり、平成20年度の森林づくり県民税の税込決算見込額は、平成20年度の事業費を3,429,501円下回る結果となりましたが、現行の県民税の期間満了後（平成22年度以降）に納期が到来する税額として約90百万円の税込が確実に見込まれますので、平成22年度において財源の調整を行うことにしています。

6 平成20年度県民税関連事業実施実績

(1) 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業など荒廃森林の再生のために実施を計画しているハード4事業については、いずれも当初計画を達成しました。

公益森林整備事業

荒廃した私有林のスギやヒノキの人工林を対象に本数率で40%以上を伐採し、針葉樹・広葉樹の混じり合った混交林へ誘導する本事業については、17市町574箇所で実施し、当初計画を上回る602.29%の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	600%	602.29%	100%	
事業費	303,000,000円	302,668,155円		

(注) 事業実績の詳細は資料編p.25～p.26を参照。

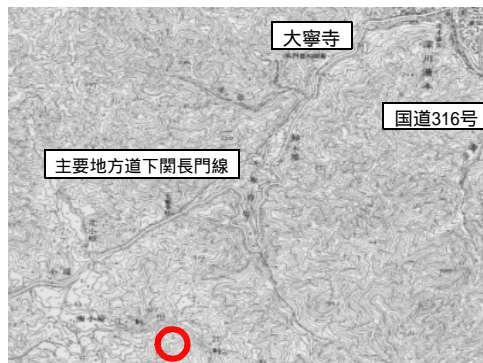
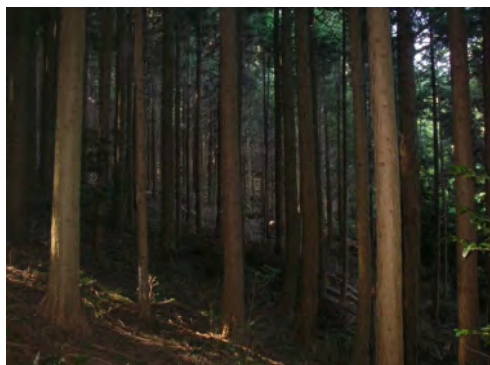
実施例 1

(位置図)

【概要】

場所	長門市俵山字狼岩
面積	1.39%
施行内容	スギ・ヒノキ42～45年生の強度間伐、林内の整理

(施行前)



(施行後)



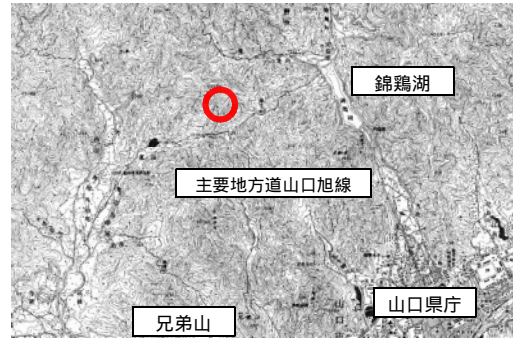
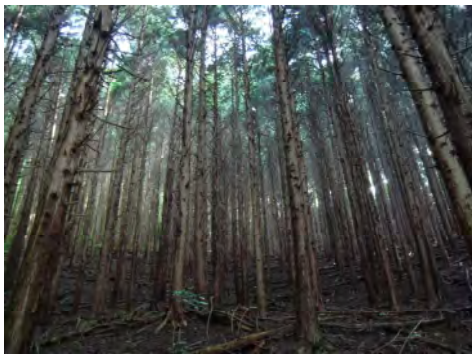
実施例 2

(位置図)

【概要】

場所	山口市中尾字大平東山
面積	2.59 ^{ヘクタール}
施行内容	スギ・ヒノキ40年生の強度間伐、林内の整理

(施行前)



(施行後)



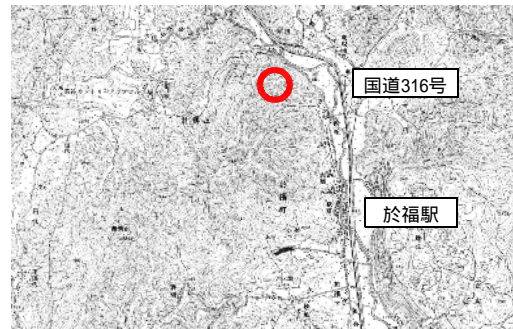
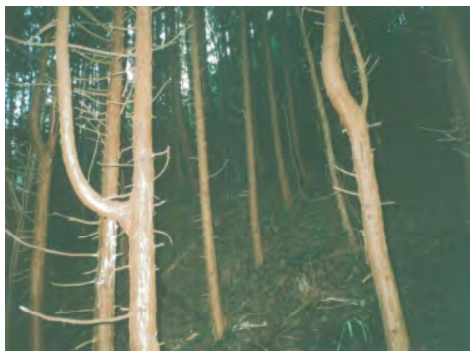
実施例 3

(位置図)

【概要】

場所	美祿市於福町上字山本
面積	0.83 ^{ヘクタール}
施行内容	スギ・ヒノキ36年生の強度間伐、林内の整理

(施行前)



(施行後)



竹繁茂防止緊急対策事業

水源地や公共施設、住宅地の周辺などにおける繁茂竹林を対象に、繁茂した竹の全伐と再生竹の除去を行い、自然林への回復を誘導する本事業については、15市町28箇所を実施し、当初計画を上回る39.82%の整備を行いました。

また、平成20年度は、平成17年度から平成19年度までに竹の全伐を行った箇所（19市町163箇所；397.63%）について再生竹の除去を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	36%	39.82%	111%	
再生竹除去面積	398.41%	397.63%	100%	
事業費	89,047,000円	87,862,356円		

（注）事業実績の詳細は資料編p.27～p.29を参照。

実施例 1

（位置図）

【概要】

場所	岩国市周東町下久原
面積	0.80%
施行内容	ヒノキ林に侵入した竹の伐採、林内の整理



（施行前）



（施行後）



実施例 2

【概要】

(位置図)

場所	阿武町大字宇田字石田
面積	3.57㊦
施行内容	広葉樹林に侵入した竹の伐採、林内の整理



(施行前)

(施行後)

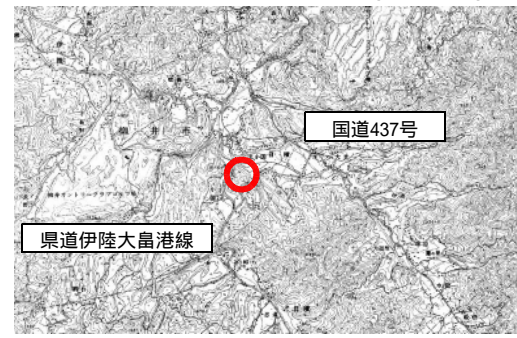


再生竹の除去例

【概要】

(位置図)

場所	柳井市日積字小田
面積	2.21㊦
施行内容	再生竹の除去、林内の整理



(施行前)

(3年後に発生した再生竹)

(再生竹の除去後)



やすらぎの森整備事業

県民の皆様が身近な場所で森林とふれあい、森林の持つ多面的な機能を理解していただくための場づくりの整備を行う本事業は、県内3箇所の整備を計画し、この計画どおり実施しました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備箇所	3箇所	3箇所	100%	岩国市奥ヶ迫 岩国市二鹿 山口市上宇野令
事業費	30,000,000円	29,947,300円		

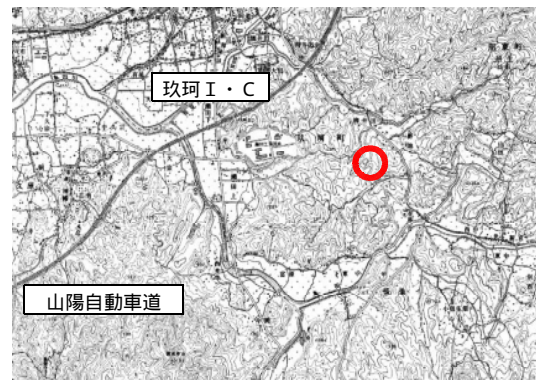
(注) 事業実績の詳細は資料編p.30を参照。

実施例

(位置図)

【概要】

場所	岩国市玖珂町字奥ヶ迫
名称	玖珂町総合公園
施行内容	遊歩道577㍍、 東屋1棟、防護柵26㍍、 案内板1基、解説板1基、 ベンチ2基など



(遊歩道、案内板)



(東屋、防護柵、ベンチ、解説板)



魚つき保安林等海岸林整備事業

松くい虫や台風などの被害により荒廃が著しい魚つき保安林等の海岸林の整備について、2市2箇所を実施し、当初計画の2分の2の整備を行いました。

区分	計画	実績	達成率	摘要
整備面積	2分2	2分2	100%	下松市笠戸（1.00分2）
事業費	5,000,000円	4,988,353円		下関市豊北町角島（1.00分2）

（注）事業実績の詳細は資料編p.31を参照。

実施例

（位置図）

【概要】

場所	下松市笠戸字野山
面積	1.00分2
施行内容	抵抗性きらら松 106本 防風垣設置 102本



（施行前）



（施行後）



(2) 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

県民税導入4年目である平成20年度は、税制度の導入目的や内容などについて県民への一層の周知を図るとともに、具体的な税の使途について理解促進を図るため、各種の周知活動に取り組みました。

また、事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見をお聴きしながら進めるため、事業の進捗に合わせて「やまぐち森林づくり推進協議会」を開催し、ご意見を反映しながら進めました。

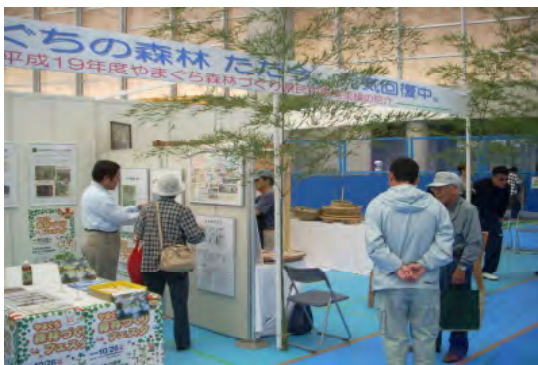
周知活動

県民への一層の周知を図るため、「やまぐち森林づくりフェスタ」の開催や公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業などの事業地を活用したイベントの開催など各種活動を実施し、制度の導入目的や内容などの周知を行いました。

また、平成20年6月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は30.5%となっています（調査対象；県内に在住する20歳以上の男女3,000人、有効回収数；1,754人、回収率；58.5%）。

実施例

パネル等を活用した広報活動



きらら物産交流フェアでのパネル展示



県庁1階でのパネル展示

（注）周知活動の概要は資料編p.32を参照。

やまぐち森林づくりフェスタの開催

- 1 開催日時：平成20年10月26日（日曜日） 午前9時30分から午後3時まで
- 2 開催場所：岩国市錦帯橋そば 吉香公園鶉飼い広場
- 3 来場者数：12,000人（平成19年度 4,000人 宇部市常盤公園湖水ホール）



岩国小学校児童による森林づくり宣言



1,000人の森林づくりメッセージ



やまぐちバンブーオーケストラの演奏



錦川源流の木の展示（スギ・ヒノキ）



森の素材でリース工房



木工クラフト体験

（参考）平成17年度やまぐち森林づくりフェスタ；下関市深坂自然の森 来場者数：2,500人、
平成18年度やまぐち森林づくりフェスタ；周南市和田小・中学校グラウンド 来場者数：3,000人

やまぐち森林づくり推進協議会の開催

県民税関連事業の実施に当たっては、県民の皆様のご意見を反映させるため、有識者や公募委員など11名により構成される「やまぐち森林づくり推進協議会」を事業の導入に併せて設置し、その意見等をお聴きしながら事業を実施しています。

委員の任期は2年で、税導入4年目となる平成20年度においては、事業の進捗に合わせ、計3回の協議会を開催しました。

(協議会における意見と事業等への反映例)

事業実施箇所や事業評価システムの現地調査など、現地の状況を我々委員や県民の皆さんに見せて欲しい。

事業評価システムの評価実験開始時にあわせて報道発表を行い、テレビ4社・新聞3社が報道を行った。また、平成20年度第2回森林づくり推進協議会において、事業評価システムの評価実験の現地視察を実施。

県民の皆さんが関心の高い地球温暖化対策と関連づけて森林整備の必要性をPRすることが大事である。

県民税関連事業の評価において、二酸化炭素吸収機能を分かりやすく明示。

県民税の最終年度に向けて、県民と直接話せる場を活用するなど、周知方法の視点を広げてみてはどうか。

森林づくり県民税の見直しスケジュールにおいて、県民の皆様と直接話せる場として、「県民意見交換会」を開催。

実施例

やまぐち森林づくり推進協議会の開催状況



協議の状況



現地視察の状況

(注) 協議会の概要は資料編p.32～p.33を参照。

モデル林等の活用

公益森林整備事業や竹繁茂防止緊急対策事業の内容や効果を県民の皆様に周知し、理解していただくために、平成18年度までに公益森林整備事業、竹繁茂防止緊急対策事業のそれぞれについて県内16箇所（平成17年度；各8箇所、平成18年度；各8箇所）にモデル林の設置を行っています。

また、やすらぎの森の開設や、モデル林を活用した各種参加行事を行い、昨年4月から8月末までの間で延べ1,001名、本年4月から5月末までの間で延べ313名の参加を得ました。

実施例

モデル林の設置状況



公益森林整備事業のモデル林（現況）



竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林（現況）

事業地を活用した取り組み



公益森林整備事業地を活用した
森林環境学習



竹繁茂防止緊急対策事業地での
タケノコ採り

（注）モデル林の設置箇所は資料編p.33～p.34を参照。

報道発表など

各種事業の実施時期などに合わせたプレスリリース（計39回）を行い、パブリシティを通じた周知にも努めました。新聞報道は延べ54回、テレビでの報道は延べ26回です。



全国の動向

森林環境の保全などを目的とした独自の税の導入は、平成15年度に高知県が導入して以降、平成16年度に岡山県が、平成17年度には山口県を含む6県が導入しています。その後、全国的に取り組みが広がっており、平成20年度までに29県が導入し、平成21年度には愛知県が新たに導入し、現在、全国で30県が導入しています。

これらの独自課税を活用した事業の内容をみると、全国的な課題である間伐を推進する事業をはじめ、針広混交林等への誘導を図る事業、県民参加の森林づくり活動を支援する事業など、それぞれの地域が抱える課題に対応して、森林整備等を推進するための事業を展開しています。

(注) 税導入県の主な事業の内容は資料編p.35～p.36を参照。

7 事業の効果

やまぐち森林づくり県民税は、森林整備を目的とする税として、平成16年3月に公表した「やまぐち森林づくりビジョン」に掲げる「県民との協働による健全で豊かな森林づくり」を具体化するため、幅広い議論を経て、平成17年4月から導入された制度です。

また、税の導入に当たっては、すべての県民がその恵沢を享受している水源のかん養、県土の保全、生活環境の保全、その他の森林の有する多面にわたる機能が持続的に発揮されることの重要性に鑑み、森林の整備に関する費用に充てることとされています。

このような制度の導入経緯を踏まえ、事業効果については、森林の持つ多面的な機能の持続的な発揮の観点からの評価や、県民の皆様の理解や参加の促進の状況を公表し、「やまぐち森林づくり推進協議会」や県議会をはじめとした幅広い意見をお聴きしながら、今後の取り組みに反映して、県民の皆様の幅広い理解と参加の下、森林づくりビジョンの目指す本県の健全で豊かな森林づくりを進めることとしています。

(1) 森林の持つ多面的な機能の回復

定点観測の実施

森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるためには、荒廃した森林が「公益森林整備事業」や「竹繁茂防止緊急対策事業」によって着実に再生することが必要条件であるため、平成17年度のこれらの事業地から調査地を選定し、平成18年度から森林環境の変化を追跡調査し事業効果の検証を行っています。

) 公益森林整備事業

森林の特性に合わせて、8箇所の事業地を選定し、詳細な調査を実施するとともに、地域特性を補完するため、8箇所に加えて、24箇所の定点ポイントを設けて森林の再生状況などについて補助調査を実施しています。

) 竹繁茂防止緊急対策事業

流域毎に4箇所の事業地を選定し、再生竹の発生や竹林の枯損、森林の再生状況などについて詳細な調査を実施するとともに、4箇所の定点ポイントを設けて補助調査を実施しています。

平成17年度事業地から調査地を選定



調査地に設定した調査区（10m × 10m）



植生の回復状況（現況）

（注）調査内容等の詳細は資料編p.37～p.38を参照。

事業効果の評価

これまで事業地の継続的な定点観測と合わせ、森林の持つ多面的な機能の回復に関する数量的評価や経済的な評価を行うため、「やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システム」を策定し、平成20年3月に公表しました。

その概要は次ページのとおりですが、この評価システムの策定に当たっては、国や大学等の研究機関の専門家などで構成する「事業評価システム検討委員会」を設置（注）し、専門的な見地からの意見を踏まえて策定しました。

具体的な評価は、この事業評価システムに基づき、平成20年度の1年間で公益森林整備事業の実施箇所等について現地調査を行い、人工降雨装置を使用した雨水流出量や土砂流出量の測定を行うとともに、この調査結果を基に、荒廃森林を整備することにより期待される機能の回復を数量的に評価し、数量的評価で得られた数値などを貨幣換算して経済的な評価を行いました。

また、森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及効果についても精査を行いました。

この評価システムによる評価結果は22ページのとおりで、森林づくり県民税の見直し年度となる平成21年度での検討資料として、平成21年5月に「やまぐ

ち森林づくり県民税関連事業評価報告書」を公表しました。

なお、このような取り組みは本県と同様の森林環境の保全などを目的とする独自の税を導入している県の中で、はじめて実施するものです。

やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システムの概要

1 評価項目

森林の持つ多面的な機能の回復に関する数量的な評価
 森林の持つ多面的な機能の回復に関する経済的な評価
 森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及効果

2 「数量的評価」及び「経済的な評価」が可能な機能に関する評価手法

機能の区分		評価数値	数量的評価の手法	経済的な評価の手法
水源 かん 養	水資源 貯留	水資源 貯留量	事業施行地の浸透能を調査することで評価ができるため、人工降雨装置を使用した現地調査と気象庁のアメダスデータにより評価。	「林野公共事業における事前評価マニュアル」を基本とするものの、現地調査等から得られる施行地の数値や山口県のデータを代替し、より実態に即した評価額を算出。
	水質 浄化	水資源 貯留率		
	洪水 緩和	ピーク 流量	事業施行地の浸透能から時間当たりの降雨量に対する流量が算出できるため、人工降雨装置を使用した現地調査で計測した浸透能と河川計画等で使用する降雨強度式により評価。	
土壌 保全	表面 侵食 防止	総土砂 流出量	人工降雨装置を使用した現地調査により流出する表面土砂量の把握が可能。この現地調査の実測値と気象庁が公表しているアメダスデータから年間の土砂流出量を算出し評価。	
地球 環境 保全	二酸化 炭素 吸収	二酸化 炭素 吸収量	事業施行地が京都議定書における森林吸収源のカウント対象となるため、京都議定書のルールに基づき山口県林分材積表から樹種・年齢別の吸収量を算出し事業面積を乗じることにより評価。	海外の排出量取引市場の平均取引価格を単価として、評価額を算出。

3 「経済的な評価」が可能な機能に関する評価手法

機能の区分		評価数値	経済的な評価の手法
土砂 災害 防止	表層崩壊防止	県内崩壊率	「林野公共事業における事前評価マニュアル」を基本として、山口県のデータを代替し評価額を算出。
	飛砂防止	事業箇所の平均樹高	
	防風	事業箇所の平均樹高	

(注) 委員名簿及び現地調査の詳細は資料編p.38～p.41を参照。

やまぐち森林づくり県民税関連事業の評価結果

1 数量的評価及び経済的な評価

評価区分 機能の区分 (評価数値)	数量的評価(括弧内は例示) 森林の持つ多面的な機能の回復 状況の数量評価	経済的な評価 森林の持つ多面的な機能の 回復状況を貨幣換算により 評価
水資源貯留 水質浄化 (水資源貯留量)	年間約6百万立方メートルの貯留量の増加 (県民約10万人分の1年間の生活用 水使用量に相当)	税実施期間中の評価額 24億円 (事業費の1.2倍)
洪水緩和 (ピーク流量)	毎秒250立方メートルの流量の緩和 (一の坂ダム(山口市)約3基分の 洪水調整量に相当)	短期(10年間)評価額 149億円 (事業費の7.4倍)
表面侵食防止 (土砂流出量)	年間約2.5千立方メートルの流出防止 (10トンダンプトラック460台分の土砂 崩壊を防止)	中期(20年間)評価額 266億円 (事業費の13.2倍)
二酸化炭素吸収 (二酸化炭素 吸収量)	年間約25千トン-CO ₂ の吸収 (普通車約1万1千台が1年間に排 出する二酸化炭素量を吸収)	長期(50年間)評価額 432億円 (事業費の21.5倍)

2 経済波及効果等

20.1億円の事業費の投入により、経済波及効果として38億円、延べ10万人・日の雇用の創出。

3 付記されるべき機能

生物多様性保全や快適環境形成、保健・レクリエーションなどは、数量的評価や経済的な評価が困難ですが、これらの機能も向上しています。

(2) 県民参加の下に行う豊かな森林づくり

健全で豊かな森林づくりは全県的かつ長期的な取り組みが不可欠であり、このためには県民の皆様の理解と参加が重要です。

このため、県民税導入4年目である平成20年度においては、税制度の導入目的や内容などについて県民の皆様への一層の周知を図るとともに、具体的な税の用途について理解促進を図るため、森林づくりフェスタの開催や県内各地での周知イベントの実施など各種の周知活動に取り組みました。

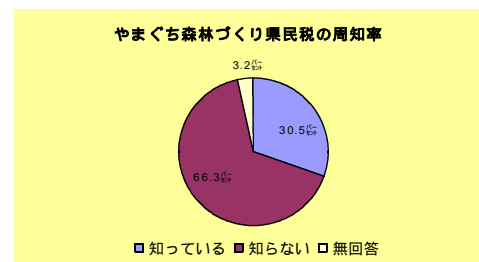
平成20年6月に行われた「県政世論調査」の結果では、森林づくり県民税の周知率は30.5%であり、県民の約3人に1人の割合で周知が図られていることが推測されます。

今後とも、「県政世論調査」を継続して実施し、定期的な周知度の把握に努めるとともに、周知活動に反映することとしています。

県政世論調査の結果

1 調査概要

- (1) 調査地域...山口県全域
- (2) 調査対象...県内に在住する20歳以上の男女3,000人
- (3) 調査時期...平成20年6月2日～6月16日
- (4) 回収数...有効回収数(率)
1,754人(58.5%)



2 「知っている」と回答した人の内訳

- (1) 男女別...男性；36.8%、女性；26.1%
- (2) 年代別...20代；15.4%、30代；12.0%、40代；22.3%、50代；26.9%、60歳以上；41.4%
- (3) 職業別...農林漁業；62.6%、商工サービス・自由業；25.7%、管理職・事務職・専門技術職；27.3%、技能職・労務職；27.5%、主婦；26.4%、学生・その他の無職；38.8%
- (4) 広域生活圏別
...岩国地域；38.7%、柳井地域；38.6%、周南地域；25.8%、山口・防府地域；37.9%、宇部・小野田地域；29.5%、下関地域；21.3%、長門地域；34.5%、萩地域；30.2%

(注) 県政世論調査の詳細は資料編p.42を参照。

(3) 経済波及効果等

平成20年度森林づくり県民税関連事業の実施による経済波及や雇用の効果の推計は次表のとおりであり、森林づくりを担う中山間地域の活性化に寄与しています。

区分	効果	摘要
経済波及効果	6.2億円	山口県産業連関表により試算
雇用効果	延べ23,000人・日	

今後においては、引き続き、このような経済波及効果等の発揮とともに、やすらぎの森やモデル林などを活用したイベントの開催などにより、交流人口の拡大にも取り組むことで、中山間地域の活性化への寄与が期待されます。

資料編

1 健全で多様な森林づくりの推進（ハード事業）

(1) 公益森林整備事業

平成20年度事業実績

区分		箇所数	面積（㊦）	事業費（円）	摘要
岩国	岩国市	157	138.60	70,834,280	
	和木町	1	0.20	99,800	
	小計	158	138.80	70,934,080	
柳井	柳井市	1	4.20	2,150,400	
	周防大島町	2	1.65	844,800	
	上関町				
	平生町				
	小計	3	5.85	2,995,200	
周南	周南市	57	69.50	36,034,340	
	下松市	28	24.61	12,871,030	
	光市	31	16.65	8,791,200	
	田布施町				
	小計	116	110.76	57,696,570	
山口 防府	山口市	36	58.36	27,644,440	
	防府市	6	2.39	1,140,030	
	阿東町	20	37.60	17,784,800	
	小計	62	98.35	46,569,270	
宇部 小野田	宇部市	3	4.45	2,136,000	
	山陽小野田市	17	18.16	8,716,800	
	美祢市	69	62.79	30,139,200	
	小計	89	85.40	40,992,000	
下関	下関市	56	40.84	20,305,360	
	小計	56	40.84	20,305,360	
長門	長門市	16	25.92	12,916,800	
	小計	16	25.92	12,916,800	
萩	萩市	63	86.20	43,013,800	
	阿武町	11	10.17	5,074,830	
	小計	74	96.37	48,088,630	
調査費等（注）				2,170,245	
計		574	602.29	302,668,155	計画量 600㊦

（注）調査費等の内訳；旅費（347,195円）、需用費（132,000円）、役務費（220,000円）、委託料（1,471,050円）。

平成20年度までの4年間の事業実績

(単位：万円)

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	計
岩国	岩国市	72.94	75.57	126.12	138.60	413.23
	和木町	0.25	0.34	1.02	0.20	1.81
	小計	73.19	75.91	127.14	138.80	415.04
柳井	柳井市	2.07	2.98	5.00	4.20	14.25
	周防大島町	1.48	0.43		1.65	3.56
	上関町					
	平生町	0.75	0.66			1.41
	小計	4.30	4.07	5.00	5.85	19.22
周南	周南市	46.90	47.87	69.37	69.50	233.64
	下松市	8.85	12.26	27.84	24.61	73.56
	光市	8.10	6.43	13.60	16.65	44.78
	田布施町	0.49				0.49
	小計	64.34	66.56	110.81	110.76	352.47
山口 防府	山口市	35.65	35.73	55.39	58.36	185.13
	防府市	1.06	1.35	2.96	2.39	7.76
	阿東町	11.17	16.14	30.53	37.60	95.44
	小計	47.88	53.22	88.88	98.35	288.33
宇部 小野田	宇部市	2.99	5.06	1.89	4.45	14.39
	山陽小野田市	2.07	5.29	17.51	18.16	43.03
	美祢市	35.05	44.15	65.60	62.79	207.59
	小計	40.11	54.50	85.00	85.40	265.01
下関	下関市	36.58	27.59	45.19	40.84	150.20
	小計	36.58	27.59	45.19	40.84	150.20
長門	長門市	19.45	16.55	29.85	25.92	91.77
	小計	19.45	16.55	29.85	25.92	91.77
萩	萩市	44.22	45.00	78.37	86.20	253.79
	阿武町	5.78	5.20	7.25	10.17	28.40
	小計	50.00	50.20	85.62	96.37	282.19
計		335.85	348.60	577.49	602.29	1,864.23

(注) 平成17年度事業計画量：330万円、平成18年度事業計画量：350万円、平成19年度事業計画量：570万円、平成20年度事業計画量：600万円。

(2) 竹繁茂防止緊急対策事業

平成20年度事業実績（竹の全伐）

	区分	箇所数	面積（ $\frac{1}{100}$ ）	事業費（円）	摘要
岩国	岩国市	1	0.80	819,000	
	和木町				
	小計	1	0.80	819,000	
柳井	柳井市				
	周防大島町				
	上関町				
	平生町	1	1.40	1,361,850	
	小計	1	1.40	1,361,850	
周南	周南市	5	5.50	5,218,500	
	下松市	1	1.00	1,008,000	
	光市	1	1.00	1,291,500	
	田布施町	2	0.94	1,533,000	
	小計	9	8.44	9,051,000	
山口 防府	山口市	4	4.71	4,923,450	
	防府市	1	0.29	116,550	
	阿東町				
	小計	5	5.00	5,040,000	
宇部 小野田	宇部市	1	2.50	2,512,650	
	山陽小野田市	1	1.52	1,354,500	
	美祢市	2	3.10	2,743,650	
	小計	4	7.12	6,610,800	
下関	下関市	1	5.40	4,925,550	
	小計	1	5.40	4,925,550	
長門	長門市	3	5.04	3,428,250	
	小計	3	5.04	3,428,250	
萩	萩市	3	3.05	2,126,250	
	阿武町	1	3.57	2,992,500	
	小計	4	6.62	5,118,750	
調査費等（注）				4,221,456	
計		28	39.82	40,576,656	計画量 36 $\frac{2}{100}$

（注）調査費等の内訳；旅費（362,629円）、需用費（184,077円）、役務費（110,000円）、委託料（3,564,750円）。

平成20年度までの4年間の事業実績（竹の全伐）

（単位：㊦）

区分		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	計
岩国	岩国市	13.58	5.61	1.97	0.80	21.96
	和木町					
	小計	13.58	5.61	1.97	0.80	21.96
柳井	柳井市	2.21	4.15	2.75		9.11
	周防大島町	5.04	4.86	0.84		10.74
	上関町	1.13				1.13
	平生町	2.57	1.99	2.12	1.40	8.08
	小計	10.95	11.00	5.71	1.40	29.06
周南	周南市	15.32	20.12	9.17	5.50	50.11
	下松市	7.70	1.00	3.89	1.00	13.59
	光市	2.86	9.32	1.00	1.00	14.18
	田布施町	2.38	2.08	1.50	0.94	6.90
	小計	28.26	32.52	15.56	8.44	84.78
山口 防府	山口市	11.75	11.10	3.60	4.71	31.16
	防府市	1.91	3.86	1.30	0.29	7.36
	阿東町	6.03	6.45	3.40		15.88
	小計	19.69	21.41	8.30	5.00	54.40
宇部 小野田	宇部市	5.24	9.80	1.00	2.50	18.54
	山陽小野田市	3.44	4.10	2.45	1.52	11.51
	美祢市	14.34	16.40	8.43	3.10	42.27
	小計	23.02	30.30	11.88	7.12	72.32
下関	下関市	32.30	23.59	10.91	5.40	72.20
	小計	32.30	23.59	10.91	5.40	72.20
長門	長門市	10.07	20.30	8.31	5.04	43.72
	小計	10.07	20.30	8.31	5.04	43.72
萩	萩市	17.72	17.47	9.42	3.05	47.66
	阿武町	4.01	3.05	1.50	3.57	12.13
	小計	21.73	20.52	10.92	6.62	59.79
計		159.60	165.25	73.56	39.82	438.23

（注）平成17年度事業計画量：145㊦、平成18年度事業計画量：155㊦、平成19年度事業計画量：68㊦、平成20年度事業計画量：36㊦。

平成20年度事業実績（再生竹の除去）

区分		箇所数	面積（％）	事業費（円）	摘要
岩国	岩国市	13	21.16	1,971,900	
	和木町				
	小計	13	21.16	1,971,900	
柳井	柳井市	3	9.11	2,310,000	田布施町を含む
	周防大島町	4	10.74		
	上関町	1	1.13	2,562,000	
	平生町	4	6.68		
	小計	12	27.66	4,872,000	
周南	周南市	13	44.61	5,859,000	
	下松市	3	12.59	1,501,500	
	光市	4	13.18	1,627,500	
	田布施町	3	5.96	(注1)	
	小計	23	76.34	8,988,000	
山口 防府	山口市	26	26.45	3,435,600	
	防府市	6	7.07	893,550	
	阿東町	5	15.10	1,485,750	(注2)
	小計	37	48.62	5,814,900	
宇部 小野田	宇部市	4	16.04	1,168,650	
	山陽小野田市	3	9.99	969,150	
	美祿市	17	39.17	3,740,100	
	小計	24	65.20	5,877,900	
下関	下関市	18	66.80	8,862,000	
	小計	18	66.80	8,862,000	
長門	長門市	15	38.68	4,977,000	
	小計	15	38.68	4,977,000	
萩	萩市	17	44.61	5,218,500	
	阿武町	4	8.56	703,500	
	小計	21	53.17	5,922,000	
調査費等					
計		163	397.63	47,285,700	計画量398.41 <small>㊦</small>

（注1）柳井市、周防大島町、上関町、平生町及び田布施町は、田布施農林事務所の管轄であり、事業規模が小さいことから、地域性を考慮して一括発注としています。

（注2）再生竹の発生が確認されなかったため、再生竹の除去を実施していない箇所があります（1箇所；0.78㊦）。

(3) やすらぎの森整備事業
平成20年度事業実績

圏域	市町名	所在地	名称	事業費(円)	事業内容
岩国	岩国市	奥ヶ迫	玖珂町総合公園	9,568,650	・東屋1棟、ベンチ2基 ・防護柵26 ^柵 _柵 ・遊歩道577 ^柵 _柵 ・案内板1基、解説板1基 ・植栽 サツキツツジ20本
岩国	岩国市	二鹿	二鹿野外活動センター	9,977,100	・簡易水洗トイレ1棟 ・遊歩道37 ^柵 _柵 ・木柵27 ^柵 _柵 ・植栽 サツキツツジ等32本
山口防府	山口市	上宇野令	兄弟山	9,625,350	・景観整備944平方 ^柵 _柵 ・駐車場整備205平方 ^柵 _柵 ・パーゴラ1棟、遊歩道27 ^柵 _柵 ・ベンチ5基、野外卓2基
		事務費		776,200	
計				29,947,300	

平成20年度までの4年間の事業実績

圏域	市町名	所在地	名称	整備年度	事業内容
岩国	岩国市	奥ヶ迫	玖珂町総合公園	平成20年度	植栽、遊歩道、東屋等
	岩国市	二鹿	二鹿野外活動センター	平成20年度	植栽、遊歩道、トイレ等
柳井	柳井市	柳井	琴石グリーンパーク	平成19年度	景観整備、遊歩道、東屋等
周南	周南市	須々万	ふれあいの森	平成19年度	景観整備、バリアフリートイレ等
	光市	束荷	伊藤公記念館周辺	平成17年度	植栽、遊歩道、展望広場等
山口防府	山口市	大原東	長者ヶ原 (森林 ^柵 _柵 -基地周辺)	平成17年度	植栽、東屋、ベンチ等
	山口市	上宇野令	兄弟山	平成20年度	景観整備、遊歩道、パーゴラ等
宇部小野田	宇部市	川上	霜降山(生活環境保全林)	平成17年度	エコトイレ
下関	下関市	豊北町	大浦岳(生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道、東屋等
	下関市	菊川町	多武の峰公園	平成19年度	景観整備、遊歩道、ベンチ等
長門	長門市	仙崎	青海島(生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道(エバ ^柵 _柵 -丸)等
萩	萩市	椿東	田床山(生活環境保全林)	平成18年度	景観整備、遊歩道、ベンチ等
計	9市	12箇所			

(4) 魚つき保安林等海岸林整備事業

平成20年度事業実績

圏域	市町名	所在地	面積(㍍)	事業費(円)	事業内容
周南	下松市	笠戸	1.00	2,205,000	・抵抗性きらら松 106本植栽 ・防風垣設置 102㍍
下関	下関市	豊北町 角島	1.00	2,740,500	・抵抗性きらら松 100本植栽 ・防風垣設置 80.5㍍
		事務費		42,853	
計			2.00	4,988,353	

平成20年度までの4年間の事業実績

圏域	市町名	所在地	面積(㍍)	整備年度	整備内容
周南	下松市	笠戸	1.00	平成20年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
宇部 小野田	宇部市	西岐波白土	1.50	平成18年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
下関	下関市	豊北町角島	1.00	平成20年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
長門	長門市	仙崎青海島	1.40	平成17年度	抵抗性きらら松植栽
	長門市	西深川小松原	0.50	平成19年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
萩	萩市	檀島	0.60	平成17年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
	萩市	大井鷓山	0.50	平成18年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
	阿武町	奈古松原	1.50	平成19年度	抵抗性きらら松植栽 防風垣設置
計	5市1町		8.00		

2 県民との協働による森林づくりの推進（ソフト事業）

(1) 周知活動

区分	数量	対象者等
県政放送等		
テレビ（元気です！やまぐち）	2回（11月16日、23日）	一般県民
VODやまぐち（インターネット）	掲載中	一般県民
広報誌（ふれあい山口）	2回（11月号、12月号）	県内全世帯
各種イベントの開催		
森林づくりフェスタ	1回（10月26日）	一般県民
地域行事	15回（9月～11月）	一般県民
モデル林等の活用	18回（H20: 4月～8月） 7回（H21: 4月～5月）	親子等
広報ツール		
パネル展示	46回（4月～3月）	一般県民
森林づくりレポート	4,000部（10月）	一般県民

(2) やまぐち森林づくり推進協議会の開催

やまぐち森林づくり推進協議会委員

区分	氏名	所属・職名	
会長	学識経験者 藤井 大司郎	山口大学経済学部長	
委員	経済団体	冷泉 憲一	山口県商工会議所連合会専務理事
		中谷 実	山口県中小企業団体中央会理事
	消費者団体	中山 光江	山口県消費者団体連絡協議会幹事
		山本 和子	山口県地域消費者団体連絡協議会顧問
	公募委員	村田 悟	（学）日本医療学園附属東亜看護学院事務長
		永田 実穂	山口短期大学非常勤講師
	森林・林業関係者	木村 誠	山口県林業研究グループ連絡協議会会長
		藤井 キクエ	山口県農山漁村女性連携会議会長
		園田 秀則	NPO法人やまぐち里山人ネットワーク理事長
	市町関係者	滝本 太美生	周南市経済部長

開催状況

開催日	開催場所	開催内容
平成20年6月3日	県庁共用第4会議室	平成20年度事業の実施計画の協議
平成20年9月12日	県庁共用第3会議室 山口市徳地柚木	平成19年度事業の実績報告の協議 事業評価システム現地調査の視察
平成21年3月19日	県庁共用第3会議室	平成21年度事業計画等の協議

(3) モデル林の設置

公益森林整備事業のモデル林

) 平成17年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市錦町広瀬字中ノ迫	1.63	ヒノキ
2	柳井市日積字北戸石	0.25	ヒノキ
3	周南市大字須々万本郷字下鹿堀	0.76	ヒノキ
4	山口市上宇野令字一ノ谷	2.45	スギ・ヒノキ
5	山陽小野田市大字山川字立原	0.51	ヒノキ
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	0.20	スギ・ヒノキ
7	長門市油谷伊上字下畑東	3.00	スギ・ヒノキ
8	萩市大字紫福字西ヶ佐古	0.80	スギ・ヒノキ

) 平成18年度設置箇所

番号	場所	面積(㊦)	摘要
1	岩国市錦町大野字大浴	4.14	スギ・ヒノキ
2	柳井市日積字上の場	0.55	ヒノキ
3	周南市大字高瀬字清水ヶ浴	0.37	スギ・ヒノキ
4	山口市小郡上郷字木船下	5.20	スギ・ヒノキ
5	美祢市伊佐町堀越字笹尾	1.34	ヒノキ
6	下関市豊田町大字殿居字羽山ヶ浴	1.46	スギ・ヒノキ
7	長門市深川湯本字井出ヶ迫	3.31	スギ・ヒノキ
8	萩市川上字平内	0.77	スギ・ヒノキ

竹繁茂防止緊急対策事業のモデル林

) 平成17年度設置箇所

番号	場所	面積(畝)	摘要
1	岩国市大字行波字野地	0.83	モウソウチク
2	柳井市日積字小田	0.74	モウソウチク
3	周南市大字湯野字郷谷	5.58	モウソウチク
4	山口市宮野下字門前	0.91	モウソウチク
5	宇部市大字小野字柿名ヶ迫	2.96	モウソウチク
6	下関市大字植田字丑ヶ浴	2.18	モウソウチク
7	長門市油谷久富字水神	0.62	マダケ
8	阿東町大字嘉年上字水出	1.34	マダケ

) 平成18年度設置箇所

番号	場所	面積(畝)	摘要
1	岩国市玖珂町字前植山	0.42	モウソウチク
2	田布施町大字大波野字道河内	0.87	モウソウチク
3	下松市大字来巻字大蔵	0.51	モウソウチク
4	山口市阿知須字後河内	0.64	モウソウチク
5	美祿市美東町赤字中原	0.86	モウソウチク
6	下関市豊北町滝部字青木ヶ原	0.67	マダケ
7	長門市日置上字河原田	3.71	モウソウチク
8	萩市大字明木字上ノ芝	2.05	モウソウチク

3 独自課税を活用した主な事業の内容

県名	税の名称(通称)	主な事業内容	導入年度
高知県	森林環境税	若齢林を中心とした間伐の促進による荒廃の予防と公益的機能を發揮できる森林の整備、森林環境教育など県民の主体的な森林保全の取組への支援など	H15
岡山県	おかやま森づくり県民税	未整備森林の間伐や松くい虫被害木の除去等による荒廃した森林の再生・整備、新規就業者の研修支援、県産材等森林資源の利用促進、企業との協働による森林保全種加など	H16
山口県	やまぐち森林づくり県民税	森林のもつ多面的な機能の回復が必要な荒廃した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、繁殖拡大した竹の伐採等による荒廃森林の再生など	H17
鳥取県	森林環境健全税	針広混交林化を図るための強度な間伐の実施、保安林の機能強化(間伐・作業道支援)、竹林の適正管理、企画提案による森づくりへの参加を促す森林体験等への支援など	
島根県	島根県水と緑の森づくり税	重要な水源事業等の10年以上間伐実施の人工林における協定に基づく不要木の伐採等、県民自らが企画・立案した森づくりの取組への支援など	
愛媛県	森林環境税	河川源流域の森林の強度間伐による針広混交林等への誘導、公共施設等における地蔵材利用への助成、県民が自発的に取り組む森林の利活用等への支援など	
熊本県	水とみどりの森づくり税	間伐実施で放置された人工林における協定に基づく強度間伐の実施による針広混交林化の促進、森林ボランティア種加への総合的な支援など	
鹿児島県	森林環境税	公益上重要な森林等における間伐等の実施や荒廃竹林の整備、県民が自ら実施する森林・林業の学習・体験種加、県産材を用いた木造施設整備等への支援など	H18
岩手県	いわての森林づくり県民税	公益上重要で緊急に整備が必要な森林における協定に基づく強度間伐の実施による針広混交林への誘導、地域住民等による森林を守り育てる種加等への支援、森林環境学習の推進など	
福島県	森林環境税	荒廃が懸念される水源区域における間伐等の実施、市町村への交付金による森づくり、県産材利用、森林環境学習、森林ボランティア種加の促進など	
静岡県	森林(もり)づくり県民税	公益性が高いが森林所有者による整備が困難なために荒廃している森林の整備(人工林の強度の伐採による針広混交林化、竹林の広葉樹林化、広葉樹林の適正密度化)など	
滋賀県	琵琶湖森林づくり県民税	奥地等の放置された人工林における強度間伐の実施による針広混交林への誘導及び森林現況調査等の実施、県産材の積極的な利用等の普及啓発など	
兵庫県	県民森税	急傾斜地等の人工林の防災機能を高めるための間伐木を利用した土留工の設置、集落裏山の防災機能を高めるための森林整備と併せた簡易防災施設の設置など	H19
奈良県	森林環境税	10年以上間伐実施で緊急に整備が必要な人工林について協定に基づく強度間伐の実施、荒廃した里山林の整備、森林環境教育の推進など	
大分県	森林環境税	災害発生等が懸念される荒廃した人工林における協定に基づく強度間伐による針広混交林への誘導、ボランティア種加増進、手の支援、県産材利用促進など	
宮崎県	森林環境税	公益上重要で長期放置された森林において実施する広葉樹の植栽や強度間伐による針広混交林への誘導、森林ボランティア団体・企業等の森林づくり種加や市町村による公有林化への支援など	
山形県	やまがた緑税	公益上重要な荒廃した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、荒廃した里山林の再生、市町村や県民が実施する森づくりや自然環境の保全種加への支援など	
神奈川県	水源環境保全・再生のための個人県民税の超過課税措置	水源域等の保全上重要な森林の買入れや整備協定など県による私有林の公的管理・支援、間伐材の搬出促進、市町村が行う私有林の公的管理・支援への助成など	H19
富山県	水と緑の森づくり税	風雪被害林や過密人工林で整理伐の実施による針広混交林への誘導、県民協働による里山林整備、森林ボランティア種加支援、森林環境教育の促進、県産材利用促進など	
石川県	いしかわ森林環境税	水源域等の手入れが不足した人工林を対象とした強度間伐の実施による針広混交林への誘導、県民の理解と参加による森づくりの促進など	
和歌山県	紀の国森づくり税	放置され荒廃した森林の公益的機能の回復、森林の重要性の普及啓発などNPOや市町村等々からの自発的な取組への支援など	
広島県	ひろしまの森づくり県民税	放置され荒廃した緊急に整備が必要な人工林の間伐等の実施、里山林の整備、NPO等の自らの企画・取組や森林・林業体験種加への支援など	
長崎県	ながさき森林環境税	重要な水源林である「ながさき水源の森」を対象とした手入れ不足の人工林における間伐の実施による針広混交林への誘導、風倒被害林の伐採・整理、県民参加による森づくり種加の支援など	

県名	税の名称(通称)	主な事業内容	導入年度
秋田県	秋田県水と緑の森づくり税	生育の思わしくないスギ人工林の針広混交林への誘導、環境教育の場として利用するための里山林の整備、松くい虫被害を受けた松林の整備、県民提案による森づくり活動への支援など	H20
茨城県	森林湖沼環境税	荒廃した森林のうち水源かん養機能等を高度に発揮すべき森林における間伐の実施、平地林・里山林の整備、県産材利活用の推進、県民活動による森づくりの推進など	
栃木県	とちぎの元気な森づくり県民税	公益的機能の発揮が求められているにもかかわらず荒廃している人工林における強度間伐の実施、人家等周辺の里山林の整備、県民による森づくり活動への支援など	
長野県	長野県森林づくり県民税	集落周辺の里山林における間伐の実施や、間伐を推進するための地或主体の取組への支援、人材育成を行う事業者への支援、市町村の森林づくり施策への支援など	
福岡県	森林環境税	長期間放置され荒廃した人工林の間伐、伐採後植林しないまま放置されている林地への広葉樹の植栽、ボランティア団体・NPO等による森づくり活動への支援など	
佐賀県	佐賀県森林環境税	荒廃した人工林の強度間伐による針広混交林への誘導、市町村による荒廃した森林等の公有林地による管理の推進、県民等による荒廃した森林を再生する取組への支援など	
愛知県	あいち森と緑づくり税	奥地や公道沿いなど林業種別では整備が困難な森林の間伐、県民や地域との協働によるモデル的な里山林の整備、都市の貴重な樹林地の公有化による保全など	H21

(注) 森林・林業白書(平成21年版)より引用。

4 事業の効果

(1) 森林の持つ多面的な機能の回復

定点観測の調査内容等

事業名	調査項目	調査内容	詳細調査	補助調査
公益森林整備事業	針広混交林への誘導効果	地況調査（調査区の地形・地質等） 上層木調査（強度間伐実施後の上層木成長経過） 混交林化調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） 光環境調査（林内相対照度の変化） 混交林化補助調査（混交林化阻害要因への対応）		
	水土保持機能の回復効果	土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化） 土壌浸透能調査（表層土壌浸透能の経年変化）		
竹繁茂防止緊急対策事業	竹皆伐による森林再生効果	地況調査（調査区の地形・地質等） 竹の減少量調査（皆伐後の再生竹量の経年変化） 森林再生調査（広葉樹の侵入状況と成長経過） 森林の再生補助調査（森林化阻害要因への対応）		
	水土保持機能の回復効果	土壌被覆率調査（下層植生等による土壌被覆率の経年変化） 土壌浸透能調査（表層土壌浸透能の経年変化）		

（注）詳細調査は県農林総合技術センター林業技術部、補助調査は農林事務所森林部が実施。

位置図



調査箇所

) 公益森林整備事業

番号	森林の特性	所在地	樹種	面積(畝)
	急峻部・湿潤	岩国市錦町大字広瀬	スギ・ヒノキ	5.21
	丘陵部・乾燥	柳井市大字伊陸	スギ	0.55
	急峻部・乾燥	周南市大字須々万	ヒノキ	2.30
	丘陵部・湿潤	萩市大字片俣	スギ・ヒノキ	2.33
	丘陵部・乾燥	山口市上宇野令	ヒノキ	2.01
	平地部・湿潤	長門市深川湯本	スギ・ヒノキ	6.39
	平地部・乾燥	美祢市西厚保町	ヒノキ	2.30
	鳥獣被害想定地	下関市菊川町大字上岡枝	スギ・ヒノキ	3.31

) 竹繁茂防止緊急対策事業

番号	流域	所在地	種類	面積(畝)
	岩徳	岩国市大字行波	モウソウチク	0.83
	山口	美祢市於福下	モウソウチク	0.78
	豊田	下関市大字植田	モウソウチク	2.18
	萩	萩市川上	モウソウチク	1.37

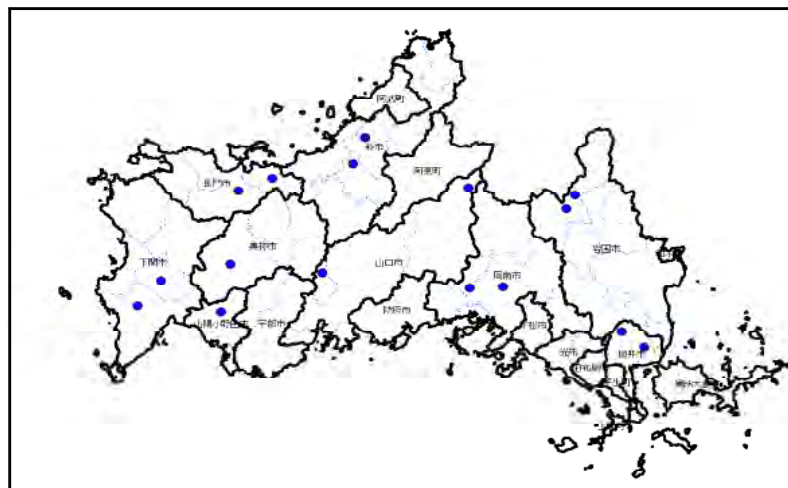
やまぐち森林づくり県民税関連事業評価システム検討委員会委員

区分	氏名	所属・職名
委員長	小川 滋	福岡工業大学社会環境学部長、九州大学名誉教授
委員	恩田 裕一	筑波大学大学院生命環境科学研究科准教授
	松浦 純生	独立行政法人森林総合研究所水土保全研究領域長
	野村 淳一	山口大学経済学部准教授
	興梠 克久	九州大学大学院農学研究院森林政策学研究室助教
	荒瀬 和男	山口県農林総合技術センター林業技術部長

人工降雨装置を使用した現地調査箇所
) 公益森林整備事業

年度	圏域	所在地	樹種	林齢	面積 (ヘクタール)
17	岩国	岩国市錦町大野字粟ヶ浴	スギ・ヒノキ	42年生	3.52
	周南	周南市大字大道理字畑	ヒノキ	41年生	1.38
	山口防府	山口市徳地柚木字四ノ谷	ヒノキ	36年生	0.46
	宇部小野田	山陽小野田市大字山川字立原	ヒノキ	36年生	0.51
	宇部小野田	美祿市西厚保町本郷字江下山	ヒノキ	44年生	2.30
	下関	下関市内日上字石原	ヒノキ	45年生	0.15
	長門	長門市三隅上字日尾	スギ	48年生	1.59
18	柳井	柳井市伊陸字大峯	スギ・ヒノキ	39年生	2.46
	山口防府	山口市小郡上郷字木船下	スギ・ヒノキ	39～43年生	5.20
	萩	萩市川上字平内	ヒノキ	53年生	0.77
19	岩国	岩国市錦町大野字猪ノ木谷	ヒノキ	39年生	0.70
	柳井	柳井市日積字ムネヶ浴	ヒノキ	50年生	0.25
	周南	周南市大字夏切字才兼	ヒノキ	37年生	0.14
	下関	下関市菊川町大字下保木字河内雨久保	ヒノキ	38年生	0.24
	長門	長門市俵山字西山	ヒノキ	43年生	0.23
	萩	萩市大字紫福猪鹿谷	ヒノキ	36～44年生	0.61

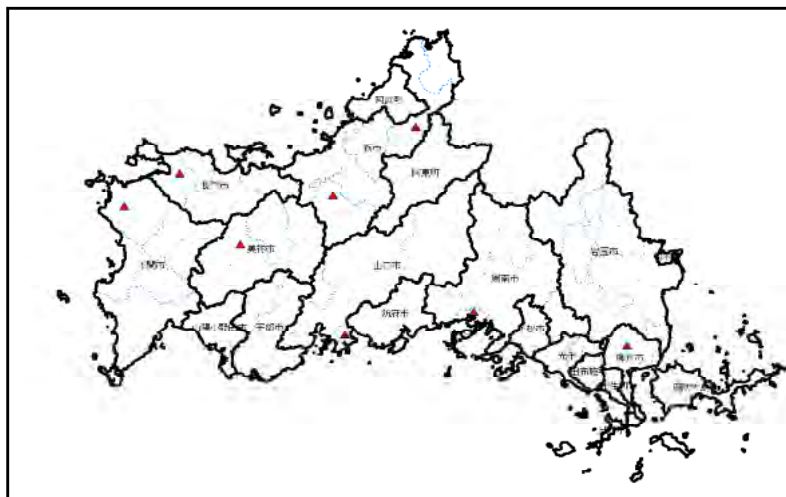
調査箇所位置図（公益森林整備事業 ● ; 16箇所）



）竹繁茂防止緊急対策事業

年度	流域	所在地	種類	面積 (ha)
17	岩徳	周南市大字福川字岡山	モウソウチク	0.79
	豊田	長門市油谷新別名字柿の木	マダケ	0.62
18	山口	美祿市東厚保町山中字浴口	モウソウチク	0.80
	萩	萩市大字明木字野地	モウソウチク	2.05
19	岩徳	柳井市柳井字河瀬	モウソウチク	0.60
	山口	山口市秋穂東南道祖	モウソウチク	0.78
	豊田	下関市豊北町大字神田上字作尻	モウソウチク	0.69
	萩	萩市大字高佐下字河内	モウソウチク	2.69

調査箇所位置図（竹繁茂防止緊急対策事業 ▲ ； 8箇所）



現地調査内容

調査区分	調査項目	調査内容等
概況調査	地況調査	標高、斜面方位、斜面傾斜度、局所地形、堆積方式、土壌型、表層地質、土壌侵食度
	林況調査	伐採時期、伐採方法、樹種、面積、林齢、樹高、胸高直径、伐採率
	林内相対照度調査	全天写真撮影用デジタルカメラにより、開空率、相対照度を測定
人工降雨調査	浸透能調査	人工降雨装置を使用し、浸透能を計測
	土砂流出量調査	流出水中の土砂を採取し土砂流出量を算出
植生等調査	下層植生調査	草本層（草高0～0.8m）の植被率、草高、種名 下層植生をサンプリングし重量等を測定
	リター調査	リター（A ₀ 層）の被覆率、厚さを測定 リターをサンプリングし重量等を測定

現地調査結果

）雨水が土中に浸み込む量（土壌浸透能）

区分	事業 実施前 (mm/時間)	事業 実施後 (mm/時間)	増減率 (/) (倍)	50年後 (予測) (mm/時間)	増減率 (/) (倍)
公益森林整備事業	71	189	2.7	303	4.3
竹繁茂防止緊急対策事業	150	273	1.8	330	2.2

）森林から流出する土砂量（土砂流出量）

区分	事業 実施前 (立方m/年)	事業 実施後 (立方m/年)	増減率 (/) (倍)	50年後 (予測) (立方m/年)	増減率 (/) (倍)
公益森林整備事業	1.03	0.01	103	0.01	103
竹繁茂防止緊急対策事業	0.07	0.01	7	0	

(2) 県政世論調査の結果

やまぐち森林づくり県民税の認知状況

(単位；%)

区分		知っている	知らない	無回答	摘要
総数		30.5	66.3	3.2	
広域生活圏別	岩国地域	38.7	58.8	2.5	
	柳井地域	38.6	60.0	1.4	
	周南地域	25.8	73.8	0.4	
	山口・防府地域	37.9	59.3	2.8	
	宇部・小野田地域	29.5	66.1	4.4	
	下関地域	21.3	76.6	2.1	
	長門地域	34.5	63.9	1.7	
	萩地域	30.2	63.1	6.7	
性別	男性	36.8	62.0	1.2	
	女性	26.1	70.4	3.4	
年代別	20代	15.4	82.3	2.3	
	30代	12.0	87.6	0.4	
	40代	22.3	76.0	1.7	
	50代	26.9	71.3	1.8	
	60歳以上	41.4	54.9	3.6	
職業別	農林漁業（家族従業者）	62.6	35.1	2.3	
	商工サービス・自由業	25.7	70.2	4.1	
	管理職・事務職・専門技術職	27.3	72.0	0.7	
	技能職・労務職	27.5	70.3	2.2	
	主婦	26.4	70.9	2.7	
	学生・その他の無職	38.8	58.5	2.7	

やまぐち森林づくり県民税で行っている事業の内容について

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	75.9	23.9	0.2	

(注) やまぐち森林づくり県民税を「知っている」と回答された方への質問。

森林の持っている働きについて

(単位；%)

区分	知っている	知らない	無回答	摘要
総数	93.9	3.1	3.0	

レポートに関するお知らせ

- 1 このレポートについては、県民の皆様に幅広く周知し、今後の取り組みについてのご意見やご提言を反映することとしています。
- 2 このレポートについては、県民局、県農林事務所及び各市町において閲覧することができます。また、県ホームページにも掲載していますのでご覧ください。
ホームページ ; <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a17700/index/>
- 3 このレポートについては、県広報誌「ふれあい山口」や、市町・森林組合広報誌などによる周知や、県・市町の施設やイベント等でのパネル展示などにより、県民の皆様に幅広く周知することとしています。

お問い合わせ先

山口県農林水産部森林企画課流域管理推進班

(電話番号) 083-933-3464 (FAX番号) 083-933-3479

(電子メール) a17700@pref.yamaguchi.lg.jp